

自律性向上に関する計画(案)

団体名: 公益財団法人 高知県牧野記念財団

管理施設: 高知県立牧野植物園

(現行指定管理期間: 令和8年度末まで)

※ 本資料の内容については、現時点での方向性を記載したものであり、今後、変更の可能性があります。

1 計画の趣旨・目的等

今回の計画を通じて「活性化」によって実現したいこと(目的)、実現するための手段

(1) 趣旨・目的

【基本的な考え方】

財団にとって最も大切かつ必要な財産は、人材であり、「人材の確保、育成、定着」と「財団で働く職員の幸せ」を目指すことが、財団としての基本的なスタンス。そして、これらを実現することが、「財団の発展」、「植物園の管理運営のさらなる充実」、ひいては、「植物園を利用して下さるお客様の満足」につながっていくものと認識。

そのために、職員の「働きやすさ」や「働きがい」の向上に向け、「処遇の改善」や「働きやすい職場環境づくり」などに取り組んでいるところ。

引き続き、こうした考え方に沿って、高知県立牧野植物園(牧野富太郎博士を顕彰する施設であり、植物の収集・保存・展示、研究、教育普及、憩いの場の提供といった機能を備えた総合植物園)の指定管理者として、多岐にわたる管理運営業務を着実に実施するとともに、効果的な広報を展開することなどを通じて、より多くのお客様にご来園いただくことにより、利用料金収入の安定的な確保を図り、あわせて、有料ガイド事業を実施するなど、収入の維持・拡大に努める。

(2) 手段

牧野博士の業績の顕彰、植物の収集・保存・展示、研究、教育普及、憩いの場の提供といった多様な機能を備えた総合植物園の指定管理者として、利用者の方々に対する良質で満足度の高いサービスの提供に努めるとともに、効果的な広報を展開することなどを通じ、より多くの来園者の確保を目指す。

これにより、利用料金収入の安定的な確保を図るとともに、有料ガイド事業を実施するなど、収入の維持・拡大に努める。

あわせて、新たな財源の確保についても、園の目的、財団の目的との整合性や指定管理事業との両立といった観点に加え、

- ①これまでの取組との親和性
- ②職員の知識・技術などの活用可能性
- ③低コストでの実施が見込まれること

などを踏まえ、現行の事務局体制の下で持続可能な取組について、全体最適の観点から自律的に検討し、実施につなげる。

検討にあたっては、引き続き、財団の事務局内での協議や、理事、評議員との協議などを行っていく。

2 計画の概要

(1) 令和8年度において実施を予定する具体的事業

施設・エリア名	実施時期・期間	事業の概要	増収分の活用方針(予定)
園内	令和8年度	有料の園内ガイド	「人材の確保・育成・定着」に資する取組の財源として活用
園内	令和8年度	お客様に特別な価値を感じていただけるツアーの受入れに向けた取組	「人材の確保・育成・定着」に資する取組の財源として活用
園内	令和8年度	植物研究活動に係る外部資金の獲得に向けた取組	「人材の確保・育成・定着」に資する取組の財源として活用

(2) 令和9年度以降実施予定の事業

No	事業概要
1	現行指定管理期間が令和8年度末までであるため未記載
2	
3	

3 県の支援措置の活用方針等

(1) 県の支援計画のうち活用を予定しているもの

広報体制確立 500万円(管理代行料の増額。R8年度限り)

(2) 規制緩和など県に要望したい事項

財団の業務や体制などの現状と課題及びそれらを踏まえて財団が自律的かつ自主的に取り組んでいることへのご理解とご支援をお願いします。
--

4 財団内の推進体制

計画の責任者、実務者、会議体など長期の事業を実施・推進するための体制

理事長、園長、副園長及び課長級以上の職員により構成する「企画会議」(週1回開催)
--